

第19回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー

多文化共生×国際協力×防災が生む

地域ブランド化と発信力

～マルチステークホルダー連携で災害に強いコミュニティ形成を目指す～

■ファシリテーター

JANIC能力強化グループマネージャー/ 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)事務局長 松尾 沢子氏

大学卒業後、独立行政法人国際協力機構(JICA)に入職、研修員受入れ事業や市民参加型事業の担当、外務省出向を経て、2008年に(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)に転職。日本のNGOの組織強化や社会的責任(SR)に関する取り組みに加え、人道・緊急支援の質とアカウンタビリティ向上に関する国際基準の普及にも携わる。2015年7月より支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)事務局長を兼務。



「支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)」とは、

本ネットワークは、2011年3月の東日本大震災発生以降、日本の関係者に対して、支援活動の質とアカウンタビリティ向上に取り組んできたQuality and Accountability (Q&A)ワーキンググループの目的と活動を引き継いで形成されました。主な活動方針は、国際社会で共有されている人道支援の諸原則、基準類を理解して実践できる支援実務者および団体の育成、人道支援の諸原則・基準と実践について継続的に教授・指導できる日本のNGO人材の育成、主に日本の国際協力、緊急人道支援、減災防災活動に関わる政策立案者や資金提供機関関係者への提言活動と、国内外での経験の国際社会での発信や調査活動などです。

■日 時:平成28年7月22日(金) 13:00～17:00

■会 場:(一財)自治体国際化協会 大会議室

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル1F

電話:03-5213-1734

アクセス:東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅1番出口より徒歩1分

東京メトロ有楽町線「麹町」駅1番出口より徒歩8分

■対 象:40名(先着順。定員になり次第終了)

自治体職員・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

■参加費:無料

■申込方法:①～⑤を記載の上、下記メールアドレスあてにお申し込みください。

<①件名【7/22自治体連携セミナー参加申込】 ②お名前(ふりがな) ③ご所属 ④ご連絡先(TEL、E-mail)
⑤名刺交換会参加の有無>

■お問い合わせ:市民国際プラザ 担当:大蔵

E-mail: international_cooperation@plaza-clair.jp 電 話:03-5213-1734

市民国際プラザHPはこちらから検索お願いします!

市民国際プラザ

検索



■開催趣旨

(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザでは、自治体等とNGO/NPOの連携・協働の促進を図ることにより多くの連携事業が生まれ、国内外の課題解決に繋がることを期待し、自治体とNGO/NPOの連携推進セミナーを継続的に開催しています。連携事業の先進事例から、連携に至るまでの経緯、課題、ポイントを学ぶとともに、参加者同士の交流の場を持つことで意見交換をしながらお互いの理解を深める機会としてご高評を頂いております。

本セミナーでは、多文化共生と国際協力を「災害支援・協力」の視点から考えます。「災害時における国際基準の対応力とは何か?」「災害対策基本法改正により、いま求められるマルチステークホルダーによる連携のあり方とは何か?」一人ひとりの役割について考えます。

平時より防災・減災に対する意識を高く持つことは、地域のコミュニケーションを円滑にし、外国人を含め様々な人が安心して暮らせる街として地域のブランド化にも繋がります。防災・減災のノウハウを国際協力支援事業として海外へ発信している事例についてもご紹介します。

■登壇者プロフィール

■ (一社)ピースポート災害ボランティアセンター 国際コーディネーター ルイス・ロビン敬氏

東日本大震災後、石巻でピースポートの災害ボランティアに参加。2013年からスタッフになり、海外事業を担当。USAの「ハリケーン・サンディ」、ネパールの大作業地震、バヌアツの「サイクロン・パム」などで、現地コーディネーターとしての経験を持つ。国連防災機関 (UNISDR <<http://www.unisdr.org/>>)が共同する人材育成プログラムをアフリカやアジア地域で実行した経験もある。



■ 高岡市共創まちづくり課多文化共生室 国際交流員 (CIR) ラヴィン・ニコラス氏

イギリス・マンチェスター出身。2010年マンチェスター大学入学、日本学専攻。2012年～2013年神戸大学に留学。その後マンチェスターへ帰省し大学を卒業。2014年8月、JETにより高岡市国際交流員(CIR)に着任、高岡市役所に勤務。2016年6月からAJET副代表に着任。



■ (特活)日本国際救急救助技術支援会 (JPR) 副会長 播磨 賢氏

1961年大阪府生まれ。高校卒業後、大阪市消防局に勤務
主に救急隊員として勤務しながらアメリカ救急医学会とアメリカ救急医協会後援のITLS/ADVANCE・PEDIATRIC・ACCESS及び日本熱傷医学会PBEC、NATIONAL COUNTER-TERRORISM EDUCATION JAPANインストラクター資格取得
2006年日本国際救急救助技術支援会：JPR入会
ザンビア、インドネシア、カンボジアでの救急救助技術支援活動に参加
現在、JPR副理事長



■ (公財)神戸国際協力交流センター 総務部長兼事業部 部長 小野 知哉氏

1988年 神戸市役所入庁
1999年 通商産業省(輸入課)へ派遣
2001年 神戸市産業振興財団経営支援課長(産業振興局主査)
2011年 須磨区役所まちづくり課長
2014年より、(公財)神戸国際協力交流センター 総務部長兼事業部長
2015年3月に解散した国連人口基金と神戸市の国際協力機関「神戸アジア都市情報センター」最後の事務局長。



■プログラム

第1部 13:00-15:05		
13:00-13:05	開会挨拶	(一財)自治体国際化協会 理事 三枝 健二
13:05-13:10	資料説明、施設確認など	
13:10-13:40	問題提起 「国際基準から考える災害対応における連携・協働の進め方」	(特活)国際協力NGOセンター能力強化グループマネージャー/支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (J-QAN) 事務局長 松尾 沢子氏
13:40-14:00	事例発表1 在住外国人と考える、地域における防災・減災のあり方。	(一社)ピースポート災害ボランティアセンター 国際コーディネーター ルイス・ロビン敬氏
14:00-14:20	事例発表2 A-JETネットワーク、外国人コミュニティとの連携・協働。	高岡市共創まちづくり課 多文化共生室 国際交流員 (CIR) ラヴィン・ニコラス氏
14:20-14:50	事例発表3 「神戸の防災・減災技術と人材教育を途上国へ」 ～国際協力が生む地域ブランド化と発信力～	(特活)日本国際救急救助技術支援会 (JPR) 副会長 播磨 賢氏 (公財)神戸国際協力交流センター 総務部長兼事業部 部長 小野 知哉氏
14:50-15:05	休憩・質問記入	
第2部 15:05-17:00		
15:05-15:25	質疑応答・パネル	ファシリテーター
15:25-16:55	意見交換会(グループワーク) 多様な被災者を支える、多彩な連携メンバーチームの在り方を考える	(特活)国際協力NGOセンター能力強化グループマネージャー/支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN) 事務局長 松尾 沢子氏
16:55-17:00	閉会・案内	
17:05-17:45	懇親会・名刺交換会	※任意参加

※セミナー終了後、希望者のみ同会場にて名刺交換会を予定しています。(会費実費。500円程度)